

おじさんへ

ラジオネーム：はやぶさシムエート

おじさん、この夏、東京でオリンピックがあったよ。

おじさんの解説付きでいろいろな競技を見たかったなあ。

父親がいない僕にとって親代わりになってくれたおじさん。

この15年間、

年配の男性がスーツを着て出勤している姿や、

定年を過ぎてシルバーセンターで働いている人、

公園で小さな孫と一緒にいるお爺ちゃん見かけるたびに、

ふじ、おじさんのことを考える自分がいました。

写真では60歳で止まっているおじさんですが、

サッカー少年団の監督だった40代の頃の顔が思い浮かびます。

周りの目が厳しいのは子供ながらにわかっていただけじ、

僕も小学4年でチームに入団。

5年生の頃には随分と強くなったはずですが

よっぽど上級生より実力が上回っていたことじ、

差し置いてまで試合には出られません。

先生やコーチ、周りの大人も止めるほど練習し、

6年生ではキャプテンになって、一緒に全道大会にも行きましたね。中学以降は、“厳しい監督”から“優しいおじさん”に戻りましたが、一緒のチームだった頃は難しい関係性の時期でした。でもそのおかげで、おじさんと同じサッカー強豪校に行き、スポーツ推薦で大学に進学することができました。おじさんも仕事を休んでまで応援に来てくれたよね。大きな声なので、観客席のどこにいるかすぐに分かります。恥ずかしかったです。父親と過ごせなかった分、おじさんから、溢れそうなくらいのたくさん愛情をもらいました。ありがとう。それと、おじさんが亡くなる直前に生まれた息子が、もう15歳です。環境のせいなのかサッカーをやって、最後の中体連でも活躍し、高校は親元を離れて進学するようになったそうです。孫だと思って、見守ってほしいですね。

リクエスト曲

＜ TWICE / 長渕剛 ＞